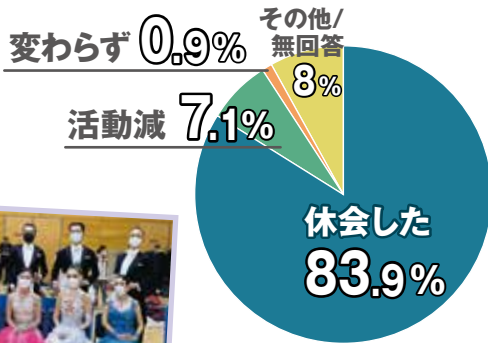


新型コロナ下のダンス活動アンケート①



質問1

4月8日(緊急事態宣言発令)～5月31日の活動内容とその理由を教えてください。



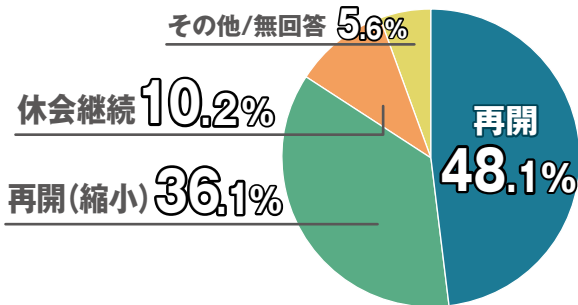
2020年の声とともに、世界各地で大きな懸念を呼ぶこととなった新型コロナウイルス(COVID-19)。日本でも1年半ばに初の感染者が確認されるとともにその感染症が広がり、4月7日には東京などに最初の「緊急事態宣言」が発令されました。この日を境にそれまでの日常は一変したのです。その直撃を受けることとなったひとつが、我々のダンススポーツにほかなりません。東京都ダンススポーツ連盟では、宣言下、そしてその解除後に、サークル活動など、これまで私たちが当然のように愉しんできたダンスの日常がどう変わったかのアンケートを取りました。

新型コロナの登場からすでに1年。2021年1月7日～3月18日には2回目の緊急事態宣言、そして4月下旬からは早くも3回目となる発動が行われるなか、最初の緊急事態宣言下とその後の各加盟団体それぞれからの情報は、さまざまな意味で今後の私たちの活動にとって参考となるはずです。

今回の春夏秋冬では、アンケートに現れたトータルな傾向と、個別の代表的な答えを掲載します。現在の状況下、会員皆さんとダンスとのつきあい方に役立てていただければ幸いです。 広報部長 佐藤 篤之

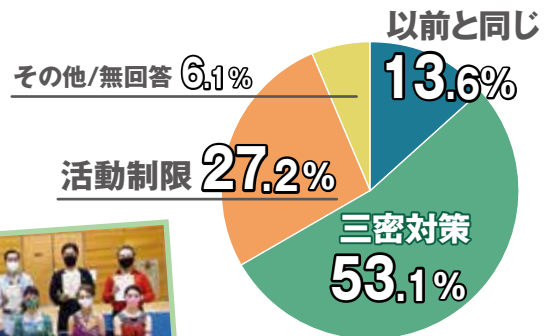
質問2

地域での活動にはどんな影響がありましたか。



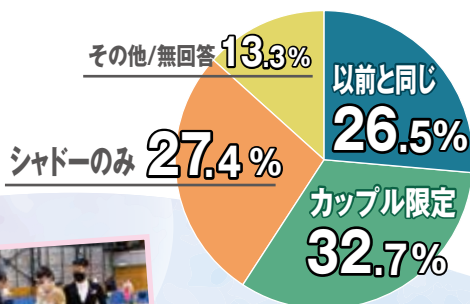
質問3

アンケート時点(2020.11～12)の公共施設の利用状況はどうでしょうか。



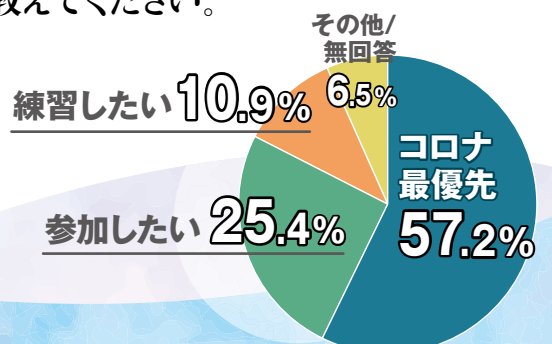
質問4

アンケート時点(2020.11～12)の活動状況を教えてください。



質問5

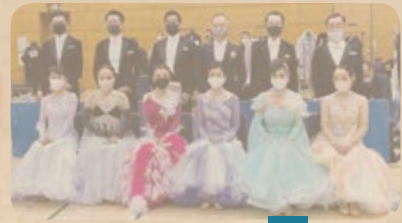
ダンス活動についての今後の希望を教えてください。



※ 集計の段階で寄せていただいたアンケート106通(複数回答あり)による統計です。

新型コロナ下のダンス活動アンケート②

ここではアンケートの自由記載欄からの声を一部紹介します。



1 4月8日緊急事態宣言(5月31日の活動内容とその理由を教えてください。)

● 休会は緊急事態宣言下の4月5月だけで、6月以降は通常通り活動しました。

● 希望者はスタジオレッスンに替え、一組ずつ時間差をつけたレッスンを行いました。

● 活動場所(小学校体育館のミーツィングルーム)が使用不可のため休会した。

● レッスン会場の使用禁止によりサークル活動は停止となる。

● 4月〜6月中旬まったく練習ができず、6月下旬から会場を確保しカプルのみ練習。

● ダンスの練習はできないので、マスクや手袋をして主にストレッチを行い、体を動かした。



2 地域での活動にはどんな影響がありましたか。

● 区主催の活動は全面的に中止となりました。各サークルも区の施設を利用して活動しているところは活動できず、7月になんとか区DS連盟総会を開催した。

● 退会が増えた。70歳以上の方が多かった。

● コロナを心配しての欠席者は、シャドウでも体を動かしたという人が多く通常に近い人数でやれている。

● 本人、家族に基礎疾患のある人中には、ダンスをやめる決断をした人もいた。人数制限もあったので、二部制にすることもあった。

● 参加者数人が離れたが、募集をかけて新規の会員が入ったので、タールとしては若干増えた。

● 活動可能なサークルに移動したメンバーなど再開しても戻らない方もいた。

3 アンケート時点(2020.11.12)の公共施設の利用状況はどうでしょうか。

● マスクと手袋と除菌ウェットティッシュを参加者に義務付けています。

● 入室時に検温、フェースガード、検温をし、会員の会話は控えめに15分ごとの換気、消毒の実施。

● 換気、検温、マスク着用、手指消毒、無言を徹底して活動。

● 入館時に個別に体温測定などのコロナ対策を行っている。

● 当初はシャドウのみで練習したが、現在は組んで練習。

● 検温、消毒、マスク着用、会場使用後、使用器具を拭いて消毒して

● 9月後半より再開、会場の広さに応じ男女別男女合同など参加者は10名ほどマスク着用、消毒など徹底しシャドウのみで組むのはまだ先になる、11/9からはコロナ感染者対策で再度活動中止。

● 利用している会場側からの制限があり、シャドウ、ダンス体操のみ行っている。6月中旬より再開したが8月までは音楽をかけるのも制限があった。利用している会場がNPO法人なので、コロナ感染者を出してはならずと神経を使っている。初級者が多いサークルなので、最初に「家泉式ダンスファン体操」等を使っている。通常の時ではできないことをやっている。

● コロナ対策を取りながら、競技会の参加及び練習の機会を増やしたい。

● 昼食が取れる場所はカプルのこと個別にシールドを保持できるブースを用意できれば、マスクを外した時の分離で徹底できれば競技会は再開できる。

● サークルの全員が1日も早く普通の状態に踊れるようになることを願っています、そのために今はシャドウ練習を通じて、体力の維持向上とダンスの基本動作レベル

● アップに努めております。

● 感染者が増加している現在、今しばらく動向をみながら模索していく。高齢会員が多いので、参加者の減少も見られる。

● 連盟サークル会員のみのカプル練習の機会を増やしたい。コロナが長く続きそうなので、色々対策を考えて、一週間に1回でも休まないで続けていった方が良くと思います。休むと人間やりたくなくなってしまうから。どのようにしたら良いか連盟で考えて続けるようにした方が良い。

● 競技会の開ける会場がないので、人数が入れない会場でのようにダンスを見てもらえるか教えてください。

● 競技会模様をYouTube配信し、会場にいなくてもSNSで感動を共有できた三笠宮杯は今後の競技会運営方法として、多方面に影響を与えたと思える。しかし、サークル会員としては、自分たちが音楽に合わせて踊る楽しみや相互のコミュニケーションが出来るのダンスサークルなので、やはりコロナウイルスのワクチンが開発され、従前同様の行動ができるまでは自粛しようという意見が多いです。

● サークル活動であれば、様子はわかるのでコロナ状況を判断し、サークル活動とリンクさせる。しかし、パーティ等多人数の場合は中止した方が良い。



4 アンケート時点(2020.11.12)の活動状況を教えてください。

● 組んでのダンス練習を減らし、シャドウレッスンを中心。

● 大会が減りモチベーションが下がった。

● 二分行レッスンをしています。①他市の競技選手を含むカプルレッスンは8組は会場を変更してもほぼ休まずレッスン。

● ②趣味の会員と高齢者はコロナで休会した人が多く、再び戻ることはないです。会の運営が大変です。

● とにかくコロナは怖いので感染防止対策をしっかりし、サークルから感染者を出さないようにしている。

● 連盟として自粛中だが、運動不足解消のため、柔軟性を動かすこと、組まないシャドウなどは活動を認めている。



※写真は3月21日に無事開催された第24回多摩北ブロックダンススポーツ大会 / 第31回小平市ダンススポーツ大会からのものです。



豊島区

東京都DS連盟の皆さん、そして加盟団体の皆さんお元気ですか？ 一昨年12月からのコロナ感染禍で、豊島区DS連盟は昨年全ての公のイベントは中止、緊急事態宣言中のサークル活動も中止、しかし、その間隙をぬって活動しております。三密を避けたソーシャルディスタンスでのシャドー練習

は位置感覚が難しく、それでも早くパートナーと組めるよう頑張っております。

この苦しい時に昨年嬉しい一報が入りました。当連盟は令和2年11月1日付令和2年度東京都スポーツ功労賞を小池百合子都知事より表彰されたのです。当日は会長が出席されました。この事は永年に亘り豊島区体育協会を介した、豊島区内での地道な豊島区DS連盟の活動が評価された証左だと思います。そんな思いとともに、当連盟発足時の諸先輩・関係各位に深く感謝します。この令和の時代に私たちは会長ご夫妻を



中心に結束し、この難局を乗り越え連盟が発展していくよう願う次第です。

豊島区ダンススポーツ連盟
理事長 山崎 英貴



北区

渋沢栄一翁ゆかりの地、「青天を衝け」の大河ドラマ館で盛り上がっているらしい私たちの北区。昼飲みの皆さんの聖地一番街、主婦の皆さんを魅了する十条商店街、ダンス練習場富士学院を有しております。

北区ではシニアのダンス体験会で技術認定のブルース、ジルバの体験コースを使ったレッスンを行い最終日の2月21日にはブルース、ジルバで踊る交流会と技術認定会の見学、やってみたい方には体験コースの受験が



できるようにしました。体験会だけで終わらせないように認定会という、次の目標を用意しサークル活動に入っていけるようにしています。

認定会練習会では自分が受験するだけでなく、先輩は後輩の組相手を行ったり運営のお手伝いをしたりして、主体的に参加するようになります。認定会受験だけで終わらせず、北区の区民大会のビギナーズ戦に参加してもらい、競技会を体験してもらうことで競技選手に育っていく方もいます。また、後輩指導の経験を生かして指導員や技術認定員の資格を取得する方もいます。指導員になると指導計画を立ててダンス経験のない人を実際に指導する勉強会を経て、実際に指導や認定員の現場に立っています。資格を取ってからの勉強、教えながら自分も学び育つのが北区流です。

北区ダンススポーツ連盟
岡里 美恵子



狛江市

狛江市は市制施行50周年を迎えました。狛江というと「面積が全国で2番目に狭い」「難読地名」……などがしばしば話題になりますが、個人的には「絵手紙発祥の地」「多摩川いかだレース開催」……といったところを、もっと広く知っていただけたらと思っています。

それはさておき、このダンススポーツの世界で狛江市の特徴をあげるとしたら、第一に「オンステップ」という初心者講習会でしょう。毎週日曜日に、総合体育館の一室で、指導員資格を持つ会員がほぼ総出で、入門者の方たちと踊り、ダンスの楽しさ、素晴らしさを知ってもらおうと奮闘しています。平成13年に始めてから今年で20年。受講者はのべ千人近くにも及ぶでしょう。地元ケーブルテレビ局や、こちらの連盟誌で紹介していただいたこともあります。コースは初級、中級とあり、指導員が交代で講師を担っています。講師にとっても、自分の技量の再確認、向上につながっているようです。

狛江市のJDSF会員数が人口に比して多いのも、このオンステップの活動が貢献しているからではないでしょうか。ここから競技選手になっている人もたくさんいますし、サークルの中心メンバーになっている人も多くいます。かくいう私も、ダンスのダの字も知らず、ちょっと照れくさい気持ちのまま勧められて受講し、その後、6級戦から競技会デビューして、今も

厳しくも充実した競技ダンス生活を満喫させていただいております。

オンステップ活動の詳細は狛江市連盟のホームページに記載してありますので、ぜひご覧ください。

JDSFの発足に尽力され、最高顧問などを務められた山口繁雄先生は狛江市にお住まいでした。80歳を超えても「自分はJDSFの踊る広告塔だよ」と愉快におっしゃって、先日故人となられた小林彌壽枝先生と、各地でタンゴやクイックのデモを踊られていました。その姿は、いつも凛々しく、またエネルギーに満ちていて、私たちを励ましてくれたものでした。その功績をたたえ心にとどめておくために、ご遺族のご快諾を得て先生のお名前を冠したカップ戦を今年度の狛江市競技会から開催する予定です。

オンステップ出身の精鋭も何組か出ることでしょう。ハイレベルな戦いが見られそうです。賑やかな大会にして、山口先生にも喜んでいただきたいと思います。どうぞ、ふるってご参加いただきますよう、お願いいたします。

狛江市ダンススポーツ連盟
矢鳥 誠



次回の「加盟団体のひろば」は荒川区・町田市の担当です。



区市短信

東京城南ブロック



城南ブロック世田谷区ダンススポーツ連盟の活動状況について報告させていただきます。昨年は新型コロナウイルスの影響で5月の競技会開催から12月のダンスフェスティバルで全ての行事が中止になりました。それに伴い理事会もほとんど開催されませんでした。またサークルにおいても、非常事態宣言や時短要請による区の対応にもとづいて施設が使えず、何か月も活動休止になりました。これは今年に入っても同様で、未だ活動休止しているサークルが多数あります。また、普段使用している施設がワクチン接種会場になり、9月末まで使用不可を余儀なくされるサークルもでてきました。一方、5月には競技会開催や世田谷区スポーツ振興財団主催の初心者ダンス教室の予定があるので、リモート会議で対応を協議しましたが中止と延期になりました。一刻も早く新型コロナウイルスが終息し、通常の活動に戻ることを願っています。 世田谷区ダンススポーツ連盟 派遣理事 野村 利治

次回の「区市短信」は東京城北ブロック・多摩南ブロックの担当です。

特別寄稿

小金井市DS連盟の ジュニア育成

小金井市DS連盟 小松 有紀子

2021 冬号の春夏秋冬106号「加盟団体の
ひろば」小金井市ダンススポーツ連盟の記事で
紹介された「チャリティーダンスパーティー」
ジュニアたち、その話題の写真を紹介します。



2020年度の小金井ジュニアは、対面レッスン4
回、オンラインレッスン16回の活動でした。一年
を通じて勉強したことは、曲に込められたイメージ
を感じて素直に表現すること。「風」と言っても、
そよ風もあれば台風のような大風もあります。昔懐
かしいエーデルワイスの曲で青空の下で豊かな感情
を込めた作品に仕上がりました。反対にジュニアが
選んだ人気ミュージシャンの曲はジャイブとサンバ
で小粋な楽しい作品で、みんなのお気に入りです。
只今新会員募集中です。

小林彌壽枝元副会長の ご逝去を悼む

東京都ダンススポーツ連盟
相談役会名誉会長

内山 雅允



小林彌壽枝元東京都アマチュ
アダンス協会副会長が2月23日
ご逝去されました。享年76歳と
なってしまう小林さんは、
故山口繁雄元都アマ協会会長(元
JADA 会長)とともに、「動く広告
塔」として全国行脚してダンスの
普及、組織の確立に尽力されまし
た。区や市のダンス愛好者の多く
は、山口さんとともに小林さんに
指導を受け、感謝していることと
思います。また都アマ協の事務局

長も歴任され、手書きの真摯な会計報告書が脳裏に浮かびます。

平成22年1月10日「山口繁雄氏の卒寿を祝う感謝の会」では、山口・
小林組とロチャース太田社長ご夫妻組のデモが披露されました。それぞ
れのカップルが合計年齢数のゼッケンをつけてステージを舞い、会場か
ら万雷の拍手を受けたことが強く印象に残っております。その4方の皆
さんとも鬼籍に入られてしまいました。無念です。

ここに生前のご指導に深く感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げま
す。



山口繁雄元都連会長と踊る



2020東京都シニア・コミュニティ
交流大会でのデモ

JDSF 東京掲示板

- 5/15 ㊦ JDSF 東京総会 場所：新宿スポーツセンター会議室
- 6/6 ㊦ 第74回都民体育大会春季大会／第73回都民ダンススポーツ大会
場所：駒沢オリンピック公園体育館
- 9/5 ㊦ 令和3年度都民生涯スポーツ大会 場所：駒沢オリンピック公園体育館
- 10/24 ㊦ 関東甲信越大会 場所：茨城県ひたちなか市
- 10/31 ㊦ ねんりんピック岐阜2021／第33回全国健康福祉祭ぎふ大会
場所：岐阜県高山市
- 11/6 ㊦ DS フェスティバル in 東京 2021 場所：駒沢オリンピック公園体育館
- 11/7 ㊦ 第41回三笠宮杯 DS 選手権 場所：駒沢オリンピック公園体育館

発行 2021年4月1日
 発行人 日吉 俊彦 (理事長)
 編集人 佐藤 篤之 (広報部長)
 企画 広報部
 発行所 東京都ダンススポーツ連盟
 住所 〒161-0031 東京都新宿区西落合
 1-28-14 榎原ビル1F
 TEL 03(6908)3412
 FAX 03(6908)3420
 HP <http://tokyo-jdsf.org>
 (「春夏秋冬」バックナンバー掲載)